

栃木県

届出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と
主原因3物質（平成28年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 ⁶ L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	真岡市	10,937,391	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエー テル 10,895,300	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル 16,640	カドミウム及びその化合物 6,080
2	さくら市	7,624,963	EPN 7,326,000	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 228,000	チウラムまたはチラム 25,300
3	大田原市	1,320,131	EPN 1,227,600	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 38,000	マンガン及びその化合物 23,634
4	宇都宮市	1,243,446	マンガン及びその化合物 951,938	亜鉛の水溶性化合物 124,212	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 117,814
5	鹿沼市	296,754	マンガン及びその化合物 270,036	亜鉛の水溶性化合物 17,031	鉛化合物 8,000
6	小山市	188,354	マンガン及びその化合物 163,280	亜鉛の水溶性化合物 13,035	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 8,320